



盃子

ワールドワーカー



スギ

日本特産種で日本の樹木にしては最も長くて大きく実りの多い常緑樹である。葉の表面を顕微鏡で見ると、必死に生き、樹木は炭酸素の貯蔵庫。

アラカン

山野に生え、樹高は約50cmになる。葉は硬く、葉の裏面に白い毛が生えている。葉の裏面に白い毛が生えている。葉の裏面に白い毛が生えている。

ウグイス

体長 15cm 体重 10g

ツバメと同様にツバメとよく似ている。ツバメよりも体が小さく、「ウグイス」と鳴くことで日本人に親しまれている。

キツネノボクソウ

高さ 10~20cm

葉は卵型で、葉の裏面に白い毛が生えている。葉の裏面に白い毛が生えている。葉の裏面に白い毛が生えている。

クサノオ

クサノオの仲間

- ・6~9月の開花
- ・日本各地に分布
- ・葉は互生葉で、葉の裏面に白い毛が生えている。

コナラ (落葉樹)

日当たりのよい山野に見られる。かつては薪炭材として里山の代表樹だった。葉は互生葉で、葉の裏面に白い毛が生えている。

アゲハ

河川流域の樹木地帯に生息。幼虫で自分より小さな生き物を食べる。

モクシク アカガエル

体長 10cm 体重 10g

皮膚は赤褐色で、背中に黒い斑がある。皮膚は赤褐色で、背中に黒い斑がある。

ワラビ

喜陰性シダ 全国各地に分布

高さ 20cm 葉は卵型で、葉の裏面に白い毛が生えている。葉の裏面に白い毛が生えている。

ハチ

両面シダ

山地の林床に生じ、大群落をつくることになり、葉が切れこみに葉の裏面に白い毛が生えている。

テントウムシ

コウチュウ目 テントウムシ科

体長 5~10mm 種類 物理刺激で鳴き出す

カエル

体長 50~100mm

皮膚は滑らかで、背中に黒い斑がある。皮膚は滑らかで、背中に黒い斑がある。

クモ

体長 10~20mm

脚は長く、背中に黒い斑がある。脚は長く、背中に黒い斑がある。

たぬき

管理が難しく、放つと水の根で水が枯れてしまう。こまめに周りの木々を切り取れば大丈夫。

カナヘビ

体長 50~100mm

背中には体の2倍ほどの大きさの目玉がある。背中には体の2倍ほどの大きさの目玉がある。



